



日本獣医心エコー図学会学術誌 獣医心臓超音波医学誌

Journal of veterinary echocardiography

— Vol.0 —

2026

一般社団法人

日本獣医心エコー図学会 / JSVE



会員募集中!

目次

Journal of veterinary echocardiography
-Vol.0-

1. 学会長挨拶(創刊の挨拶)	P.3
2. 活動内容と役員紹介	P.4
3. 会員枠紹介	P.5
4. 第1回学術集会の概要	P.7
5. 第1回学術集会報告	P.9
6. 編集後記	P.12
7. 奥付	P.13

2026年6月

1. 学会長挨拶 (創刊の挨拶)

Journal of veterinary echocardiography
-Vol.0-

ごあいさつ

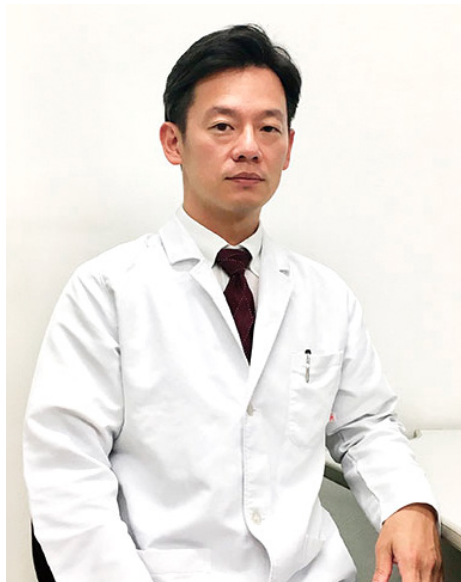
獣医心エコー図学会(JSVE)の創設ならびに、本学会誌『獣医心エコー図学会誌』創刊号の発刊に際し、皆様にご挨拶申し上げます。

獣医療における心エコー図検査の重要性は、年々増加しています。循環器疾患に限らず、麻酔管理、救急医療、腫瘍学、集中治療など、あらゆる領域で「非侵襲的かつ即時的に心機能を評価できる」という心エコー図の価値はますます高まっています。しかし、国内の獣医心エコーを専門に扱う学術コミュニティはこれまで存在せず、計測法の標準化、人材育成、研究の共有など、多くの課題が残されていました。

このような背景から、2025年、獣医心エコー図学会は設立されました。本学会は、教育・臨床・研究の三位一体を軸に、獣医心エコー学の発展に寄与することを目的としています。

心エコー図検査に携わる獣医師が、基礎から応用、研究まで一貫して学べる場として、本誌を育てていく所存です。会員の皆様とともに、日本の獣医心エコーの未来を築いていけることを願っております。

2026年6月
獣医心エコー図学会
理事長 岩永孝治



2. 活動内容と役員紹介

Journal of veterinary echocardiography
-Vol.0-

心エコー図検査技術の向上・標準化

正確な撮像技術および読影力を高め、獣医療現場において均質かつ高度な検査を提供できるよう支援します。

獣医循環器領域における 専門家の育成

心エコー図検査に特化した研修・セミナー・資格認定などのプログラムを整備し、臨床能力の底上げを図ります。

(認定医・専門医制度の設立および運営)

研究・情報交換の推進

症例報告や研究成果を発表できる場を提供し、国内外の最新知見・技術を広く共有します。

関連学会との連携

国内外の他学会と連携し、知見や研究成果の相互交換を図ります。

愛玩動物看護師の 教育・キャリアサポート

国家資格として新たに認可された愛玩動物看護師を対象とするセミナーや研修プログラムを提供し、心エコー図検査の補助・計測や術前術後のモニタリングなどでより高い専門性を発揮できるよう支援します。

(認定愛玩動物看護師制度の設立および運営)

2025 年度役員

【理事長】

岩永 孝治

東京動物心臓病センター センター長

【執行理事】

鈴木 亮平

日本獣医生命科学大学獣医学部獣医学科獣医内科学研究室 講師

【執行理事】

望月 庸平

岡山理科大学獣医学部獣医学科 講師

【執行理事】

合屋 征二郎

日本大学生物資源科学部獣医学科獣医放射線学研究室 講師

【執行理事】

吉田 智彦

帯広畜産大学動物医療センター 准教授

【監事】

井坂 光宏

酪農学園大学獣医学群獣医学類長 教授

【顧問】

小山 秀一

日本獣医生命科学大学 名誉教授

3. 会員枠紹介

Journal of veterinary echocardiography
-Vol.0-

会員枠について

本会では、以下の会員枠をご用意しています。
会員枠に応じた特典をご用意しています。

- ・正会員(獣医師・愛玩動物看護師)
- ・愛玩動物看護師会員 / 準会員
- ・学生会員(獣医学生・愛玩動物看護学生)
- ・病院会員
- ・賛助会員(企業・団体)
- ・無料会員

正会員

獣医師、愛玩動物看護師、研究者、教育従事者で、
本会の目的にご賛同いただける方

- ・学術集会・セミナーの参加費優遇と優先参加
- ・「認定医・認定愛玩動物看護師」など学会資格
制度への申請資格・学会発表・論文投稿の機会
- ・教育コンテンツ(動画・教材)の利用
- ・最新の循環器診療情報や症例検討会へのアクセス

年会費	入会金
13,000 円	1,000 円

愛玩動物看護師会員 / 準会員

愛玩動物看護師、関連領域の専門家や技術者で、
本会の目的にご賛同いただける方

- ・学術集会・セミナーの参加費優遇と優先参加
- ・学会発表・論文投稿の機会
- ・教育コンテンツ(動画・教材)の利用
- ・認定愛玩動物看護師の申請資格

年会費	入会金
7,000 円	1,000 円

学生会員

獣医学系の大学や専門学校、関連領域に所属する学
生で、本会の目的にご賛同いただける方

- ・学術集会やセミナーへの参加費優遇
- ・年会費無料
- ・学生のうちから専門知識に触れられる機会
- ・学会員・認定医との交流によるキャリア形成支援

年会費	入会金
0 円	1,000 円

病院会員

本会の目的にご賛同いただける動物病院

- ・学会公式 HP に病院名・所在地・HP リンクを掲載
- ・病院会員認定証を交付し、院内掲示可能
- ・病院スタッフ全員が会員専用コンテンツに
アクセス可能

※個人ではなく病院単位での登録となります

年会費	入会金
100,000 円	0 円

賛助会員(企業・団体)

本会の活動を賛助する団体または個人

- ・セミナー申込ページにロゴ掲載
- ・セミナー後懇親会にご招待
- ・ブース出展の特別価格を提示
- ・学術雑誌に商品・サービス紹介を掲載
- ・HP 上にバナー設置

年会費	入会金
100,000 円	0 円

3. 会員枠紹介

Journal of veterinary echocardiography
-Vol.0-

無料会員

セミナーや学術集会情報、今後開始する認定医・
専門医制度に関する情報を受け取りたい方

年会費	入会金
0円	0円

4. 第1回学術集会の概要

Journal of veterinary echocardiography
-Vol.0-

日程

2025年10月25日(土) 9:50~17:00

2025年10月26日(日) 10:00~16:00

(10/25には、17:30~19:00にて懇親会を実施。

申し込み制)

会場

中央動物専門学校 講義棟

(学校法人中央工学校「19号館」)

(東京都北区東田端1丁目4-4)

プログラム

・全24セッション(セミナー、実習を含む)

・各日13:00~16:00で少人数制の実習を実施

(1日単位での申込受付)

定員:各日16名(申し込み先着順)

※詳細は次項をご確認ください

参加方法

1. 会場参加

2. アーカイブ動画視聴のみ

3. 会場参加+アーカイブ動画視聴

※アーカイブ動画視聴には、各講演における質疑応答、
一般講演、実習は含まれません

一般演題・症例検討会

日本獣医心エコー図学会では、心エコー図に関する知識と技術の普及・向上を目的として、一般演題(研究発表・症例発表)および症例検討会を開催いたします。

日常臨床で得られた貴重な症例や研究成果を共有し、活発な議論を通じて臨床と研究の発展につなげていきたいと考えております。多数のご応募をお待ちしております。

2025.10.25 (土)

会場 1

アドバンスレーン

会場 2

ベーシックレーン

会場 3

ハンズオン実習レーン

9:50~10:00

開会

10:10~11:00

猫の心筋症の心エコー (診断)
講師: 岩永 孝治 (東京動物心臓病センター)

心エコースクリーニングにおける基本断層像の描出と評価①~右下アプローチ~
講師: 鈴木 亮平 (日本獣医生命科学大学)

休憩 11:00~11:10

11:10~12:00

猫の心筋症の心エコー (病態および重症度評価)
講師: 岩永 孝治 (東京動物心臓病センター)

心エコースクリーニングにおける基本断層像の描出と評価②~左下アプローチ~
講師: 鈴木 亮平 (日本獣医生命科学大学)

昼休憩・ランチョンセミナー 12:00~13:00

13:00~13:50

心不全の心エコー (診断/血行動態評価)
講師: 大菅 辰幸 (宮崎大学)

左心系指標の計測方法の標準化①基礎編
講師: 望月 庸平 (岡山理科大学)

休憩 13:50~14:00

14:00~14:50

心不全の心エコー (治療活用)
講師: 大菅 辰幸 (宮崎大学)

左心系指標の計測方法の標準化②応用編
講師: 望月 庸平 (岡山理科大学)

休憩 14:50~15:00

15:00~15:50

僧帽弁閉鎖不全症の心エコー (診断)
講師: 高野 裕史 (どうぶつ総合病院)

一般演題 (症例もしくは研究発表)
座長: 岩永 孝治、望月 庸平

休憩 15:50~16:00

16:00~16:50

僧帽弁閉鎖不全症の心エコー (病態および重症度評価)
講師: 高野 裕史 (どうぶつ総合病院)

一般演題 (症例もしくは研究発表)
座長: 岩永 孝治、望月 庸平

17:30~

懇親会

※ セミナータイトルをタップすると当該セミナーの抄録ページに遷移します。

要事前予約

【13:00~16:00】

ハンズオン心エコー実習 (16名限定)

講師: 鈴木 亮平 (日本獣医生命科学大学)

協賛: キヤノンメドテック サプライ株式会社

2025.10.26 (日)

会場 1

アドバンスレーン

会場 2

ベーシックレーン

会場 3

ハンズオン実習レーン

10:00~10:50

肺高血圧症の心エコー (診断)
講師: 合屋 征二郎 (日本大学)

心エコークイズ
講師: 岩永 孝治 (東京動物心臓病センター)

休憩 10:50~11:00

11:00~11:50

肺高血圧症の心エコー (病態および重症度評価)
講師: 合屋 征二郎 (日本大学)

ドプラ法による血流評価と臨床応用
講師: 島田 香寿美 (東京農工大学)

昼休憩・ランチョンセミナー 12:00~13:00

13:00~13:50

先天性心血管疾患における心エコー評価
講師: 青木 卓磨 (麻布大学)

猫の心エコーテクニック
講師: 湯地 勇之輔 (ガーデン動物病院/日本獣医生命科学大学)

休憩 13:50~14:00

14:00~14:50

カテーテル治療対象の心血管疾患における心エコー評価 (治療適応/予後評価など)
講師: 青木 卓磨 (麻布大学)

右心系指標の計測方法の標準化①基礎編
講師: 吉田 智彦 (帯広畜産大学)

休憩 14:50~15:00

15:00~15:50

症例検討会
座長: 鈴木亮平、合屋 征二郎

右心系指標の計測方法の標準化②応用編
講師: 吉田 智彦 (帯広畜産大学)

※ セミナータイトルをタップすると当該セミナーの抄録ページに遷移します。

要事前予約

【13:00~16:00】

ハンズオン心エコー実習 (16名限定)

講師: 岩永 孝治 (東京動物心臓病センター)

協賛: キヤノンメドテック サプライ株式会社

5. 第1回日本獣医心エコー図学会 学術集会 報告

— 開催概要 —

Journal of veterinary echocardiography
-Vol.0-

第1回日本獣医心エコー図学会学術集会は、2025年10月25日、26日(2日間)、中央動物専門学校(東京都北区)にて開催された。2日間の総参加者数は153名に達し、臨床・教育・研究に携わる多数の獣医師、大学教員、動物看護師が参加した。さらに、心エコー実習(ハンズオン)は2日間で計32名が参加し満員となり、超音波装置を用いた実践的トレーニングが高い評価を受けた(協賛:キャノンメドテックサプライ会社)。また、現地参加に加えてアーカイブ配信には109名が申し込み、全国の臨床家からの関心の高さがうかがえた。

教育講演

今回の学術集会では、参加者のレベルや興味に応じて選択できるよう、「アドバンスレーン(会場1)」と「ベーシックレーン(会場2)」の2トラック制でプログラムを編成した。



【会場1：アドバンスレーン】

より深い専門性を求める獣医師や愛玩動物看護師を対象とし、最新の知見や高度な心エコー評価・病態理解に関するセッションを配置した。

主な内容は以下の通り：

- ・猫の心臓の心エコー（診断、病態評価）

- ・心不全の心エコー（診断、血行動態評価）
- ・僧帽弁閉鎖不全症の心エコー（診断、病態評価）
- ・肺高血圧症の心エコー（診断、病態評価）
- ・先天性心血管疾患における心エコー評価
- ・カテーテル治療対象の心血管疾患における心エコー評価

各講演はいずれも臨床の意思決定に直結する内容であり、中級～上級者向けの心エコーアプローチを体系的に学べる構成となった。



【会場2：ベーシックレーン】

これから心エコーを学びたい獣医師や愛玩動物看護師、学生を対象とした基礎から学べる入門～初級者向けのセッションを展開した。

主な内容は以下の通り：

- ・心エコースクリーニングにおける基本断層像の描出と評価
- ・左心系指標の計測方法の標準化（基礎・応用編）
- ・ドプラ法による血流評価と臨床応用
- ・猫の心エコーテクニック
- ・右心系指標の計測方法の標準化（基礎・応用編）

臨床現場で必要な「最低限押さえておきたい検査手順と評価ポイント」を整理し、初学者が迷わず学べる実用的内容が中心となった。

5. 第1回日本獣医心エコー図学会学術集会報告

— 開催概要 —

Journal of veterinary echocardiography
-Vol.0-



ランチョンセミナー (協賛：日本全薬工業株式会社)

1日目は本学会が新たに創設した認定獣医師・認定愛玩動物看護師制度の概要が説明され、心エコー図検査教育の体系化と検査の標準化に向けた取り組みが紹介された。

2日目は「ベトメディン経口液とアブカード錠を使いこなす」をテーマに、木崎皓太先生(荻窪桃井どうぶつ病院/杉並動物循環器クリニック)より投薬継続の実践的ポイントが紹介された。心疾患治療における家族・獣医師・看護師・メーカーの連携の重要性が示され、参加者から高い関心が寄せられた。

一般講演/症例報告

1日目午後からは複数の一般講演が行われ、臨床例から研究報告まで多彩な演題が発表された。いずれの発表も臨床現場に直結する内容であり、質疑応答も活発に行われた。その中で、査読委員による審査の結果、以下の2名が受賞した。

最優秀賞

川合森平先生(日本獣医生命科学大学獣医学科)
「犬の粘液腫様変性性僧帽弁閉鎖不全症における僧帽弁大動脈VTI比による僧帽弁逆流流量評価の有用性」

優秀賞

荒木 隆次先生(横浜磯子どうぶつ病院)
「経過観察中に左房後壁解離を呈した犬の閉塞性肥大型心筋症の1例」



両名の発表は、臨床的意義の高さ、画像解析の精度、発表構成の明瞭さが高く評価された。受賞者には、同日開催された懇親会にて表彰が行われた。

心エコーハンズオンセミナー (協賛：キヤノンメドテックサプライ株式会社)



アドバンスレーン(会場1)およびベーシックレーン(会場2)とは別会場で両日とも心エコーハンズオンセミナーが行われた。2日間にわたり実施された心エコーハンズオンは、事前受付の段階で全枠が埋まり、計32名が参加した。会場では実習犬を使用し、前方に準備された巨大スクリーンに投影されたライブ画像を参照しながら、基本断面の描出からM

5. 第1回日本獣医心エコー図学会 学術集会 報告

— 開催概要 —

Journal of veterinary echocardiography
-Vol.0-

モード、ドプラ計測、心臓機能評価の要点まで、臨床現場で求められる技能を体系的に学べる内容となった。岩永孝治先生(東京動物心臓病センター)と鈴木亮平先生(日本獣医生命科学大学)の両名を中心に、心エコー検査に熟練した講師陣が担当した。受講者各々のプローブ操作と画像描出を丁寧に確認し、その場で改善点を具体的にフィードバックする形で進行した。単に手技を示すのではなく、「なぜこの角度で当てるのか」「どの構造を基準に描出位置を決めるのか」といった思考過程まで共有された点が高く評価された。特にスクリーンを活用した解説では、リアルタイムで変化する心臓画像を全員が同じ視点で確認でき、講師が行う微妙なプローブ調整の意図を正確に理解できるため、初学者から経験者まで幅広い層にとって有意義なセッションとなった。

企業展示



GEヘルスケアジャパン株式会社、キヤノンメドテックサプライ株式会社をはじめとする企業による展示が行われ、最新機器のデモ、画像最適化の実演、AI解析技術などが紹介された。学会として産学連携の基盤を築く重要な機会となった。

総括

今回の第1回学術集会は、心エコー図検査を専門に扱う学会としての第一歩でありながら、臨床・教育・研究の三軸を高いレベルで成立させることができた。

- ・参加者総数 153名
- ・ハンズオン参加 32名(満員)
- ・アーカイブ配信申込 109名

以上の結果から、獣医心エコー図検査の臨床的ニーズと、学会としての役割の大きさが明確になった。本学会は、心エコー図検査教育の体系化、計測法の標準化、学術研究の発展を通じて、獣医療に貢献する活動を今後も継続していく。

6. 編集後記

Journal of veterinary echocardiography
-Vol.0-

本誌『獣医心エコー図学会誌』創刊号を刊行するにあたり、多くの会員ならびに関係各位のご支援とご協力を賜りましたことに、編集委員会一同、心より御礼申し上げます。本学会は2025年に設立され、第1回学術集会をもって正式に活動を開始いたしました。創設間もない学会ながら、臨床・教育・研究の三領域にわたる幅広い参加と活発な討議が行われ、本邦における獣医心エコー図学の発展に対する高い関心と期待を改めて実感する機会となりました。

本誌は、獣医療における心エコー図学の体系化と標準化を推進し、臨床現場における診断精度の向上、ならびに研究成果の共有を目的として創刊されたものです。今後は、原著論文・症例報告・教育的資料・海外文献紹介など、多面的な内容を通じて、学術的交流の場としての役割を担ってまいります。

心エコー図検査は、非侵襲的かつ即時的に心機能を評価しうる手法として、臨床のさまざまな領域で不可欠な位置を占めつつあります。獣医療におけるその応用範囲は年々拡大しており、適切な知識と技術の共有がこれまで以上に求められています。本誌が、獣医心エコー図検査に携わるすべての臨床家・研究者にとって、有用な情報基盤となることを願います。

最後に、本誌の発刊にあたりご尽力賜りました学会関係者各位に深甚なる謝意を表します。引き続き、より充実した学術誌として発展を遂げられるよう、編集委員会一同、鋭意努めてまいります所存です。

2026年6月
獣医心臓超音波医学誌
Journal of veterinary echocardiography
編集委員会

7. 奥付

Journal of veterinary echocardiography
-Vol.0-

2026 年度 学会役員

【理事長】

岩永 孝治
(東京動物心臓病センター センター長)

【執行理事】

鈴木 亮平
(日本獣医生命科学大学 獣医学部 獣医学科 獣医内科学研究室)

望月 庸平
(岡山理科大学 獣医学部 獣医学科)

合屋 征二郎
(日本大学 生物資源科学部 獣医学科 獣医放射線学研究室)

吉田 智彦
(帯広畜産大学 動物医療センター)

【監事】

井坂 光宏
(酪農学園大学 獣医学群 獣医学類長 教授)

【顧問】

小山 秀一
(日本獣医生命科学大学 名誉教授)

日本獣医心エコー学会学術誌
獣医心臓超音波医学誌
Journal of veterinary echocardiography
Vol.0
2026 年 6 月発行

編集委員会代表：望月 庸平 / 吉田 智彦

編集委員長：岩永 孝治

事務局：一般社団法人獣医心エコー学会

E-mail：info@jsve.jp

Web：https://jsve.jp

発行元：日本獣医心エコー学会学術誌 (JSVE)